FUJIFILM Value from Innovation 日本

ニュースリリース

2025年9月3日

SXシリーズで最も明るいレンズを搭載、夜間でも鮮明に対象をとらえる光学性能を実現

レンズ一体型遠望カメラSXシリーズの新モデル 新開発

焦点距離12.5mmから400mmの光学32倍ズームと小型・軽量ボディを両立し、可搬型の運用にも対応

富士フイルム株式会社（本社:東京都港区、代表取締役社長・CEO:後藤 禎一）は、レンズ一体型遠望カメラ「SXシリーズ」の新たなラインアップとして、光学32倍ズームと小型・軽量ボディを両立した新モデルを開発しました。本モデルは、2026年初旬に発売予定です。

SXシリーズの最新望遠カメラは、1/1.8型の有効イメージサイズ[*1]に対応し、広角12.5mmから望遠400mmの幅広い焦点距離をカバーしつつ、全長約300mm、重量約3.9kgと小型軽量ボディを実現しました。シリーズで最も明るいF2.8のレンズを搭載し、夜間でも鮮明に対象をとらえることができます。国境や港湾の監視やインフラ設備の点検など、従来の据え付け型の運用以外にも、近年ニーズが高まる車両や船舶などに搭載した運用や、ライブイベントや建設現場などに持ち運び、臨時で設置する監視カメラとしての運用など幅広い用途に柔軟に対応します。当社は、2025年9月9日～9月12日にイギリスのロンドンで開催される防衛・セキュリティ分野における世界最大級の展示会「DSEI UK」にて新モデルを参考展示します。

SXシリーズ 新モデル

遠望カメラは、国境、森林、空港、港湾、高速道路などの遠方を監視する用途で幅広く活用されています。また、社会インフラの老朽化やそれに伴う点検業務の人手不足を背景に、遠隔点検への活用も進んでいます。当社は、長年培ってきた光学技術と画像処理技術を結集し、レンズ一体型遠望カメラ「SXシリーズ」を2019年より発売しています。現在、焦点距離20mm～800mmをカバーする光学40倍ズームが可能な「FUJIFILM SX800」と、広角40mm～1600mmをカバーする「FUJIFILM SX1600」を発売し、ラインアップを拡充しています。「SXシリーズ」は、高速高精度のAFと防振システムにより数km離れた対象物でも鮮明な映像で瞬時にとらえられると好評いただいています。

今回新たに開発したモデルは、当社がこれまでに培った4K/8K対応放送用レンズやシネマカメラ用レンズの光学技術を活用し、「SXシリーズ」で最も明るい新開発のF2.8レンズを搭載します。夜間など暗い環境下でもノイズの少ないクリアな映像で対象をとらえることができます。またレンズとカメラを一体開発することでサイズの最適化を図り、広角12.5mmから望遠400mmまでをカバーす

る光学32倍ズームと、全長約300mm、重量約3.9kgという軽量コンパクトボディを両立しました。従来の据え付け型の運用に限らず、近年ニーズが高まる船舶や車両などに搭載した運用や、イベント会場や災害・事件現場の監視など、カメラを据え付けられない場所に持ち運び柔軟な運用を可能にします。
当社は、4K/8K対応の放送用レンズやシネマカメラ用レンズなど幅広いレンズ製品の開発で培った独自の光学技術と、デジタルカメラ「GFXシリーズ」「Xシリーズ」で採用している最先端の画像処理技術を駆使し、今後もお客さまや市場のニーズにこたえる画期的な製品の開発に取り組んでいきます。

*1 イメージセンサー上で映像記録に用いられる範囲

記

1. 開発品名

レンズ一体型遠望カメラSXシリーズ新モデル

2. SXシリーズ新モデル主な特長

(1)光学32倍ズームと全長約300mm、重量約3.9kgの小型軽量性を両立

レンズとカメラを一体開発することで、広角12.5mmから望遠400mm(水平画角31.8°から1.0°)までの幅広い焦点距離をカバーする光学32倍ズームレンズを搭載しつつ、全長約300mm、重量約3.9kgの小型軽量ボディを実現。据え付け型の運用だけでなく、小型軽量のボディを生かし、車両や船舶などに搭載した運用や、可搬型の監視・点検システムの構築に活用可能です。

(2)SXシリーズで最も明るいレンズを新開発し、夜間でもノイズの少ないクリアな映像を提供

新開発した開放F値2.8のズームレンズを搭載。独自の光学設計で、焦点距離12.5mmから200mmまで開放F2.8の明るさを保つことができます。夜間など、暗い場所であっても、ノイズの少ないクリアな映像を提供します。

(3)映像のブレを抑える独自開発の防振システムを採用

光学式防振機能(OIS)と電子式防振機能(EIS)の協調制御を可能とした富士フイルム独自の防振システムを採用することで、より微細な振動を瞬時にとらえ、遠望撮影でも、足場の揺れや風による映像のブレを抑え安定した映像撮影を実現します。

(4)対象物を瞬時に正確に捉える最短約0.1秒の高速・高精度AF

後群の小径レンズを高速で駆動させる「リアフォーカス方式」を採用することで、フォーカス群を大幅に軽量化。さらにCMOSセンサーの位相差画素が入射光のズレに応じて被写体までの距離を測定し素早くピントを合わせる「像面位相差AF」と、画像のコントラストを検出し高精度にピント合わせを行う「コントラストAF」を組み合わせることで、最短約0.1秒の高速・高精度なAFを実現します。

(5)陽炎・霞軽減機能を搭載し、より鮮明な映像を提供

優れた陽炎・霞軽減機能を標準搭載。空気中の水滴や塵などにより靄が掛かったような映像や空気中の温度差で発生する被写体の「揺らぎ」を、独自の画像処理技術によって低減。視認性を低下させる霧・靄発生時でもクリアに撮影することができます。

ニュース用画像データ

一括ダウンロード

ZIP: 724KB

お問い合わせ	**報道関係** 富士フイルムホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報グループ TEL 03-6271-2000	**お客さま** 富士フイルム株式会社 イメージングソリューション事業部 プロフェッショナルイメージンググループ 製品に関するお問い合わせフォーム

* 記事の内容は発表時のものです。最新情報と異なる場合(生産・販売の終了、仕様・価格の変更、組織・連絡先変更等)がありますのでご了承ください。

富士フイルム広報 X(旧Twitter)

一覧へ戻る

©富士フイルム株式会社